

各施設にて、暦の行事にちなんだ行事食を提供しています。
今回は城西病院で提供している行事食をご紹介します。

3月の行事食

ひな祭り



ちらし寿司
うしお汁
ぶりの照焼
はじかみ
カブ添え
きゅうりの浅漬け
桜餅

ちらし寿司、はまぐりの吸い物、桜餅など、ひな祭りにあった献立にしました。
ちらし寿司は市販のものでなく手作りにしてあります。

4月の行事食

お花見



桜寿司
花麩の清汁
鰯の西京焼き
はじかみ
菜花の辛し和え
うぐいす豆
いちごゼリー

桜寿司と花麩の吸い物にして、お花見らしい献立にしました。
桜寿司にいくらをのせることで華やかな感じになりました。
季節のものということでデザートはいちごを使った手作りゼリーにしました。

5月の行事食

子供の日



たけのこ御飯
若竹汁
天ぷら盛り合わせ
抹茶塩
ふきの煮物
柏餅

たけのこ・たらのめ・ふきなど旬の素材を使用した行事食になっています。
子供の日なので、柏餅をデザートにしました。

患者様より頂きましたメッセージです。

刺身、寿司が大好きで・・・かなわぬ夢ですね。
三度三度、日記に書いております。

今日はどんな食事かと楽しみに待っております。皆様のお心使いに感謝申し上げます。
皆様方の御健康、御多幸を切に祈っております。乱筆、乱文でごめんなさい。

いつも優しく

小倉ホーム開設



グループホーム「小倉ホーム」が、安曇野市三郷小倉のミサトピア小倉病院の東に2014年4月に新規開設しました。精神に障がいをお持ちの方で、「地域で生活したいけど1人暮らしには少し自信がない」「家庭や住宅事情によって住む場所に困っている」など地域での生活を希望しているが、なかなかうまくいかない方々が自立した生活を送ることができるよう支援を行う共同住宅です。
全室個室2階建て、3ユニット(1ユニット3名)が2棟あり計18名が共同生活できる住居です。

世話人による食事の提供や健康管理面でのサポートを致します。

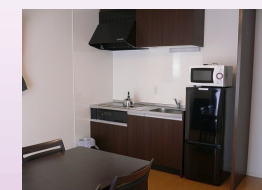
日中は、デイケアや作業所への通所や就労支援事業を利用しながら、一般の人たちと同じような生活を送ることができます。

医療面は、ミサトピア小倉病院、ミサトピア小倉醫院でサポートをします。

自然豊かな環境の中で自立した日常生活を送れるグループホームを目指していきます。

お問い合わせ先

ミサトピア小倉病院(0263-76-5500)堀崎または樋口まで



城西医療財団 理念

私達は、病める人、障害を持つ人にいつも優しく、
最良の医療サービス及び福祉サービスを一体的に提供する。
また、心身の健康保持・増進を志向する人に最良の保健サービスを提供する。
利用者を身体的、精神的、社会的、そして倫理的に診療し、
科学的根拠に基づいた治療を行う。

2014年5月10日発行

●発行 社会医療法人 城西医療財団 〒390-8648 長野県松本市城西1-5-16 TEL 0263-33-6400 FAX 0263-33-9920
ホームページ <http://www.shironishi.or.jp>

●編集/発行者 広報文化委員会



連載

肝臓ものがたり



城西病院 院長 清澤研道

肝臓はふしぎな臓器—プロメテウス神話—

体で一番大きい臓器

肝心要とも肝腎要ともいいますが肝臓は体の中で重要な働きをしていることの表れです。それもそのはず体の中で一番大きい臓器で約1300gあります。細胞数は250億個あります。人間一人の細胞数は60兆個ですから全体の4.2%を占めることになります。

体の化学工場

肝臓は体の化学工場でいろいろな材料から体に必要な材料を集め、それをもとに体に必要なものを加工して送り出しています。主な働きは、①糖質、脂肪、たんぱく、アミノ酸の代謝(古いものを壊し新しいものをつくること)を行います。②肝臓では一日に約1000mlの胆汁がつくられ、胆管から腸に排泄されます。③肝臓は体外から侵入してきた有害物質や、体内で発生した不要な物質をさまざまな方法で無毒化(解毒という)し、体外に排出します。

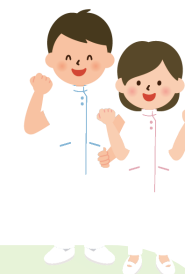
肝臓にはふしぎな力がある

ギリシャ神話のなかに「プロメテウス神話」というのがあります。プロメテウスは偉い神様ではないのですが人間にとっては恩人です。人間はその昔まだ火や技術を持たず凶暴な動物に抵抗できず、夜も昼も恐怖に怯えていました。それを見かねたプロメテウスは神々の使っていた火やさまざまな技術を人間に授けてくれたのです。以来人間に知恵が付き人類発展のもとになりました。これを知った偉い神様ゼウスは大いに怒りプロメテウスを山の岩石に彼を縛り付けました。そうすると夜な夜なハゲワシがきて彼の肝臓を食べたのです。ところが翌日になるとプロメテウスは元気を取り戻していました。肝臓がもとに戻っていたのです。これが何年も何年も続きました。依然としてプロメテウスは元気です。やがてゼウスの怒りも解け彼は解放されたのです。この話はプロメテウスは人類の恩人であるということと、「肝臓は傷をうけても元に戻る力(再生力)がある」ということを示す有名な話です。

肝臓にはいろいろな働きと不思議な力があるのです。

理学療法

理学療法士からメッセージ



介護老人保健施設

安曇野メディア

介護老人保健施設 安曇野メディアには現在、理学療法士（PT）3名、作業療法士（OT）2名、計5名の専門スタッフが在籍し、ご利用者（入所・通所）の在宅復帰・在宅生活の継続、機能向上・維持を目的としたりハビリを提供させていただいています。

リハビリの対象者は入所（定員70名）、通所（定員25名）のご利用者です。入所の場合、専門職による個別リハビリとケアスタッフと連携して実際の生活の中で行う生活リハビリとを並行し在宅生活に向けての支援、残存機能の維持・向上の為に支援を行っています。また、入所中は他職種協働にてご利用者の機能維持・向上、生活自立支援などの為のカンファレンスや、在宅退所前には、ご本人ご家族が在宅で安全に安心した生活や介護が行えるような支援やアドバイス、在宅訪問などを実施しています。

デイケア（通所リハビリテーション）では、通って来られる方が長く在宅で生活できるように、また一緒に生活をされるご家族も安心できる生活が行えるよう支援を行います。また、心身の機能を維持・向上という目的だけではなく、新たな趣味を見出すことやそこへの参加などの支援も行います。

介護保険が導入されて15年。介護保険が広く知られるようになった今こそ介護老人保健施設のリハビリスタッフの力が試される時だと強く感じ、ご本人やご家族からの様々なご要望に対して、一つでも多く実現できるよう努め、取り組む毎日です。

これからも安曇野メディアリハビリを宜しくお願いします。

安曇野メディア 理学療法士 後藤 明以子



介護老人保健施設

白馬メディア

理学療法士という職業

今回は他職種から転職した私が見た「理学療法士という職業」について、感想を述べたいと思います。

私は製造業やサービス業を経験してきました。そんな私から見た理学療法士は先生と呼ばれる事もある一種独特の職種だと思います。先生とは学問などを教える人、または学芸に長じている人などですが、その他にも年長者という意味があります。

理学療法士は治療などで教えたり、導いたりしますから先生と呼ばれることも正しいのかもしれませんが、しかし、私が今勤めている白馬メディアの利用者や患者の方々は、私よりも年長者の方々は、利用者や患者の方々は私から見れば先生です。

そんな年長者の方々に先生と呼ばれて自分自身を見失わないように、これからも利用者や患者の方々に敬意を持って接して治療していきたいと思っています。

白馬メディア 理学療法士 安保 元晴

